

南西日本プログラム特別講義

「昭和30年代の調査から見る奄美の宗教」

(日本語にて講義)



日時：5月15日(土) 13:00～14:30

場所：駿河台校舎 リバティタワー 10階 1103教室

講師：ドイツ・ボン大学名誉教授

法政大学国際戦略機構特任所員

ヨーゼフ・クライナー



国際的な日本研究の第一人者。ウィーン大学及び東京大学で民族学 (Ethnologie) と日本研究 (Japanologie) を専攻。日本文化の基層、九州や南西諸島の社会と宗教、日本の村落の祭祀組織など、多角的な日本研究を行う。自らの研究活動とともに、ヨーロッパを中心に活躍している多くの日本研究者を育成する。また、ヨーロッパと日本の学術交流及び文化外交にも大きく貢献している。主な著作に、共著『南西諸島の神観念』(未来社、1977)、『地域性からみた日本：多元的理解のために』(新曜社、1996年)、『阿蘇に見た日本—ヨーロッパの日本研究とウィーン大学阿蘇調査』(一の宮町教育委員会、2000年) など多数。

*申し込み不要です。一般の聴講も歓迎します。